



亀中だより

No.31 令和3年11月5日 文責:岡田



For The Students!

バンクシーの絵はなぜ罪に問われな~~い~~1ののでしょうか？

バンクシーとはご存じの通り、イギリスを拠点とする匿名のストリートアーティストです。短時間でゲリラ的に制作した作品が突然現れ、社会を風刺した内容や権力への反発など政治色の強い作品も少なくありません。ところで、日本でも海外でも、落書きをすると罪に問われます。みなさんは、ではなぜバンクシーは逮捕されたり、罪に問われたりすることがないのか、不思議に思ったことはありませんか。

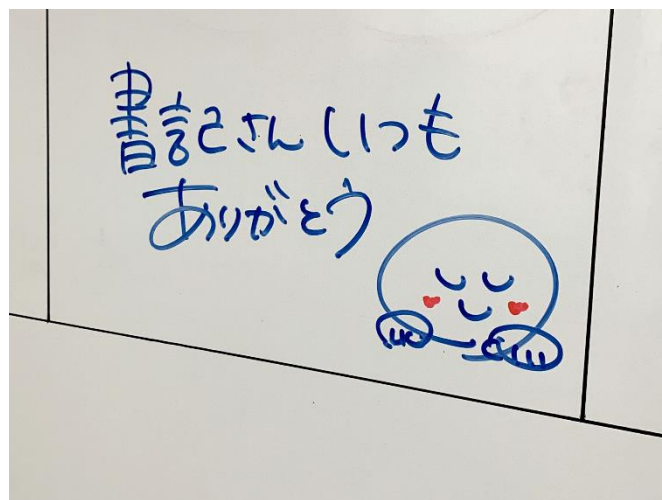
インターネット上で調べたところ、ある法律家は、「器物損壊罪や建造物等損壊罪では、その物が本来持っていた価値を低下させた場合に損壊と見なされるため、一般人が落書きした場合は、価値を低下させたとして罪に問われる」しかし、「バンクシーの場合は、作品が高付加価値のアートとなるため、犯罪とは見なされないのではないか」という見解を出していました。

さて、亀山中学校でも“作者不明の落書き”が10月のある日、発見されました。場所は授業予定が掲示された連絡ボードです。日ごろから学級のために活動してくれている書記さんへの温かなメッセージが添えられていました。ルーティンともなっている当たり前の毎日かもしれませんが、ふとそのことに立ち止まって考え、気持ちを伝えることは、大切だなと考えさせられました。

当然、亀山中学校としてこの落書きに被害届を出すつもりはありません(^)/
吉田先生、ありがとう！



昨年5月コロナ禍にあるイギリス南部の病院へ贈られたバンクシーの作品
なじみのヒーローキャラクターよりも看護師の
人形を手に遊ぶ子どもの絵



今年10月亀中1棟1階連絡ボードに
描かれた吉田教諭の作品
毎日かささず学級のみみんなのために予定連絡を
してくれている学級書記さんへの感謝の絵

秋のさわやかなお天気が続いています。「亀中祭」もお天気に恵まれ、生徒のみなさんが本気で走る姿を久しぶりに見る事ができました。亀中祭の記事は、次号でご紹介させていただきます。お楽しみに。

さて、10月の中旬から急に冷え込み、今年は秋が短いのかなと感じさせられましたが、先週から好天の日が多く、まさに「天高く馬肥える秋」となっています。暦の上ではまもなく立冬…。残り短い秋をみなさんはどのように過ごしますか。中体連新人大会は中止となりましたが、連盟や協会の大会などが再開している部活動もあることでしょう。有意義な秋をお過ごしください。

この写真を撮った時に、日に正門前をウォーキングしているご婦人に出会い、立ち話になりました。いろいろ話していると、お孫さんが、本校に在学しているとか…。学校生活の様子もお伝えすることができて、とても気持ちのいい時間をいただきました。また是非、お立ち寄りください。



写真は10月29日10時過ぎの校庭から見た多聞櫓と秋空です。ぜひ亀中ホームページでもご覧ください。

シルバーさんに校庭の草刈りをしていただきました！



10月28日、シルバーさんの駐車場、校庭の草刈りをしていただきました。コロナ禍で愛好作業なども行えず、伸び放題でしたが、亀中祭前にきれいにしていただき、ありがとうございました。